

近畿地方整備局就業体験実習に関する実施細則

近畿地方整備局就業体験実習に関する実施要領第12の規定に基づき、近畿地方整備局就業体験実習に関する実施細則を次のとおり定める。

(主務)

第1 実習に係る事務に関し、事務系は総務部、技術系は企画部（以下「主務部」という。）が担当するものとする。

(実習生の募集)

第2 実習生の募集は、次のとおり行うものとする。

- (1) 各実習実施機関の長は、実習生の受入れについて、受入れ可能な課等名、期間、人数、実施業務等につき、別紙様式1にとりまとめ、主務部へ報告する。
- (2) 主務部は、前項の報告をとりまとめ、大学等及び学生に対して、インターネット等を通じて、実習の実施を通知する。
- (3) 大学等は実習に参加させるものとして推薦する学生を、別紙様式2にとりまとめ、被推薦者毎に別紙様式3を添付のうえ、主務部の長に提出するものとする。

(実習生の決定等)

第3 実習生の決定は、次のとおり行うものとする。

- (1) 主務部は、各実習実施機関の受入可能人数、学生の希望等を勘案し、各実習実施機関の長に対して、推薦する学生の一覧及び当該学生の作成した必要書類を送付する。
- (2) 各実習実施機関の長は、主務部の長の推薦に基づき、受入れの可否を決定する。この際、実習生を受入れる課等の長による面接を行うことができる。実習実施機関の長は、決定後速やかに、実習生の受入れ先等につき、主務部の長まで報告するものとする。
- (3) 主務部の長は、各実習実施機関の長の報告を受けて、別紙様式4により速やかに大学等へ受入れ可能な学生の氏名及び実習を実施する課等を通知する。当該学生への結果の通知は、各大学等において行うものとする。
- (4) 実施要領第5(5)に規定する覚書の締結は、各大学等の総括責任者と主務部の長との間で、別紙様式5により行うものとする。
- (5) 実施要領第5(6)に規定する誓約書については、別紙様式6によるものとし、実習生が署名、押印のうえ、主務部の長に提出するものとする。

(実習生に対する指導等)

第4 主務部の長は、実習の円滑かつ適切な実施を図るため、当該部局内において、実習生の指導、監督、助言を担当する職員（原則として、実習生受入部署の所属長とする。以下「指導員」という。）を指名する。

(実習の実施方法等)

第5 実習の実施方法等は、次のとおりとする。

- (1) 実習の内容は、国土交通行政上漏洩すると重大な影響を与える情報等秘匿性の高い情報(以下「秘密情報」という。)を扱うものとなってはならない。また、秘密情報に接し得る状況に実習生をおいてはならない。
- (2) 実習生個人毎に指導員を置き、実習生の指導及び助言にあたらせるものとする。
- (3) 指導員は、別紙様式7による実習計画書を作成し、実習の適正かつ効果的な実施に努めるものとする。
- (4) 実習生は、指導員の助言のもとに当該課における補助的な行政事務に関し、実習を行うものとする。
- (5) 実習生は、実習期間終了後、実習内容に関する報告書を作成し、実習実施機関の長に提出するものとする。
- (6) 指導員は、実習終了後速やかに、別紙様式8により、実習の結果を実習実施機関の長に報告するものとする。
- (7) 実習実施機関の長は、実習終了後、別紙様式9により、実習の結果を主務部の長に報告するものとする。
- (8) 実習終了後、主務部の長は、大学等からの要請に応じて、実習の終了を報告するものとする。実習生への連絡は、各大学等において行う。
- (9) 実習に必要な机、椅子、パソコン等の事務用品は、実習実施機関が実習生に貸与するものとする。

(個人情報保持)

第6 実習実施機関の長は、実習生の個人情報を外部に漏らしてはならない。

(その他)

第7 実施要領に定めのない事項及びこの細則に関して疑義が生じた事項については、関係者が協議して決定するものとする。

附則

この細則は、平成18年6月14日から施行する。

附則

この細則は、令和2年6月3日から施行する。

附則

この細則は、令和3年4月27日から施行する。

附則

この細則は、令和4年4月27日から施行する。

附則

この細則は、令和6年4月26日から施行する。

(別紙様式1)

令和 年度 近畿地方整備局就業体験実習 受入予定表

事務所名	
------	--

実習番号	実習担当課・出張所名	実習対象人数	専門※1)	受入可能時期	実習予定日数※2) (土日祝含まない実日数)	実習内容※3)	実習場所
①		大学(3年・4年・院生) 名 高専(4年・5年)、高校 名					()市 最寄り駅 ()線()駅
②		大学(3年・4年・院生) 名 高専(4年・5年)、高校 名					()市 最寄り駅 ()線()駅
③		大学(3年・4年・院生) 名 高専(4年・5年)、高校 名					()市 最寄り駅 ()線()駅
④		大学(3年・4年・院生) 名 高専(4年・5年)、高校 名					()市 最寄り駅 ()線()駅

※1)「専門」の欄には、土木工学・電気・建築・機械・事務等の別を記入。

※2)実習予定日数は、単位取得の関係で10日以上希望が多いため、可能な範囲でカリキュラムのご検討をお願い致します。

※3)実習内容は具体的記載をお願い致します。

(別紙様式2)

近畿地方整備局 就業体験実習 推薦申込書

大学・学部名等

総括責任者職名

氏名

連絡担当者職名

氏名

電話番号

FAX番号

E-mail

※単位取得等の関係で実習日数に希望がある場合は必ず備考欄に記載してください。
実習受入れ確定後の実習日数の変更は絶対に受け付けません。

(ふりがな) 学生氏名	年齢・性別	学年・専攻学科等	住所(市区町村名)	大学等での近畿地方整備局就業体験 実習の取り扱いについて (単位化予定等)	※備考(要望等)

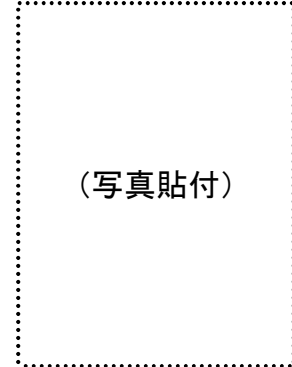
※性別の記載は任意です。未記載とすることも可能です。

(別紙様式3)

令和 年度 近畿地方整備局 就業体験実習調査表

所属大学等		学部・学科	
学年(年齢)		(ふりがな) 氏名	

住所	(現住所) (帰省先住所)
電話番号	



1. 希望する実習事務所 課名及び志望理由を**必ず第3希望まで**ご記入下さい。
河川国道事務所を希望する場合は、河川事業又は道路事業の希望もご記入下さい。
2. 第3希望までの記入が無い又は、希望先の定員を超過した場合等は、
実習生受入れ調整の都合上、受入をお断りさせて頂く場合があります。

第1希望	
志望理由	
第2希望	
志望理由	
第3希望	
志望理由	

上記以外の部署における実習希望の有無

希望する ・ 希望しない

実習希望場所 ()

学内試験期間など、実習に参加出来ない期間があればご記入下さい。

実習不可期間 (月 頃 から 月 頃)

単位取得等の都合等、実習日数に希望がある場合は希望日数を必ずご記入下さい。

() 日間以上を希望

※実習受入れ確定後の実習日数、期間等の変更は一切受けません。

3. パソコンの使用について該当する事項を御記入ください。

・使えるソフト (Word ・ Excel ・ PowerPoint ・ 一太郎)

4. 就業体験において、希望する業務等があれば御記入下さい。



(別紙様式4)

文書番号
日 付

大学等総括責任者 あて

国土交通省
近畿地方整備局 企画部長

近畿地方整備局就業体験実習受入れの決定等について

貴殿より推薦のあった近畿地方整備局就業体験実習の受入れについては、選考の結果、下記の者を受入れることとしましたので、お知らせします。

つきましては、別添覚書を締結致しますので、異存がなければ、覚書に記名・捺印のうえ、2通提出してください。

また、誓約書を同封しますので、下記の者に署名をさせた上、併せて提出して下さい。

記

氏 名	受 入 部 署	実 習 期 間
-----	---------	---------

(備考)

1. 送付期日

令和○年○月○日(○) (必着)

*送付に当たっては、書留扱いをお願いします。

2. 送付先

〒540-8586 大阪府中央区大手前 3-1-41 大手前合同庁舎

国土交通省 近畿地方整備局 企画部 企画課 企画第二係 宛

(別紙様式5)

近畿地方整備局就業体験実習に関する覚書

国土交通省近畿地方整備局（以下「甲」という。）と〇〇〇大学（〇〇〇専門学校）（以下「乙」という）は、別記「近畿地方整備局就業体験実習生名簿」に記載されている乙に所属する学生（以下「実習生」という）が、甲において就業体験実習（以下「実習」という）を行うことについて、下記のとおり覚書を締結する。

記

第1 実習実施に係る基本的役割等

甲は、実習生を実習実施期間受入れ、実習生に対し必要な指導・助言を行う。

乙は、実習生に対し、「近畿地方整備局就業体験実習に関する実施要領（平成18年6月14日付け国近整人第121号総務部長通知、国近整企画第35号企画部長通知）」、「近畿地方整備局就業体験実習に関する実施細則（平成18年6月14日付け国近整人第121号総務部長通知、国近整企画第35号企画部長通知）」及び本覚書に定める事項を周知するとともに、円滑な実習を進めるため必要な指導及び監督を行う。

第2 実習時間、手当等の支給及び事故への対応等

- (1) 実習時間は、午前8時30分から午後5時15分まで（以下「定時」という）とし、このうち午後0時から午後1時までを休憩時間とする。ただし、近畿地方整備局（本局各部等）、大阪国道事務所、大阪港湾・空港整備事務所、浪速国道事務所（大阪湾岸道路整備推進室除く）にあっては、実習時間は、午前9時15分から午後6時までとし、このうち午後0時から午後1時までを休憩時間とする。なお、定時以外にも実習を行うことがある。
- (2) 甲は、実習期間中、実習生に対し一切の手当等（実習実施場所までの交通費、日当、宿泊費など）を支給しない。
- (3) 乙又は実習生は、「学生教育研究災害傷害保険」及び「インターンシップ等賠償責任保険」の加入等により、実習中における関係他者（甲、他者、財物等）に対する損害、損傷等の賠償が生じた際は、その一切の責任を負うものとする。
- (4) 実習生の実習期間中の災害等（実習実施期間への移動中含む）については、「学生教育研究災害傷害保険」及び「インターンシップ等賠償責任保険」の加入等をもって充てる他、乙が誠意をもって問題の解決にあたるものとする。

第3 実習中における遵守事項等

- (1) 実習生は、実習に関して甲の指示に従い、実習期間中は実習に専念し、公務の信用を傷つけ、又は公務員全体の不名誉となるような行為を行ってはならない。
- (2) 実習の欠務は、正当な事由による場合以外は認めない。やむを得ず欠務する場合は、事前に甲に申し出てその指示に従うこととする。正当な事由による場合であっても2日以上欠務した場合、甲は、実習を打ち切ることができることとする。

- (3) 実習生は、甲における実習活動中に知り得た情報（公開されているものを除く）の開示については、指導員の指示に従わなければならない。実習終了後においても、同様とする。
- (4) 実習生は、実習期間終了後 2 週間以内に、実習内容に関する報告書（1,000 字程度）を作成し、指導員を経由して実習実施機関の長に提出しなければならない。
- (5) 実習生は、実習成果を論文等により外部へ発表する場合には、事前に実習実施機関の長の承認を受けなければならない。
- (6) 甲は、実習生がこの覚書に従わない場合、その他実習を継続しがたい事由が生じた場合は実習を打ち切ることができる。甲は、実習を打ち切った場合は、速やかに乙にその旨を通知する。

第4 誓約書の提出

学生は、実習に先立ち、甲に対して誓約書を提出する。

第5 協議

本覚書に定めがない事項又は本覚書に疑義が生じた事項については、甲と乙が協議の上決定するものとする。

本覚書の締結を証するため、本書 2 通を作成し、甲及び乙が記名捺印のうえ、それぞれ 1 通を保管するものとする。

令和 年 月 日

(日付は、空欄。当方において本覚書を受領した日付を記入し、貴職へ返送致します。)

甲 国土交通省近畿地方整備局企画部長

〇〇 〇〇

乙 〇〇大学・・・・

〇〇 〇〇

(総括責任者)

別 記

近畿地方整備局就業体験実習生名簿

氏 名	学部・学科	実習実施機関	受入課・出張所	受入開始	受入終了
				RO. O. O	RO. O. O

(別紙様式6)

誓 約 書

国土交通省近畿地方整備局企画部長 殿

近畿地方整備局において就業体験実習を受けるに当たり、近畿地方整備局就業体験実習に関する実施要領（平成18年6月14日付け国近整人第121号総務部長通知、国近整企画第35号企画部長通知）等を理解し、実習生として下記のとおり遵守することを誓約します。

記

1. 実習期間中は専ら所定の実習に従事し、実習目的の達成に努めること。
2. 実習期間中は近畿地方整備局職員が遵守すべき法令及び規則を守るとともに、実習生としての活動について指導員の指導、監督等に従うこと。また、公務の信用を傷つけ、公務員全体の不名誉となるような行為を行わないこと。
3. 実習期間中は、特定の政治政党、宗教、企業、団体の利益のための行為を行わないこと。
4. 近畿地方整備局における実習活動中に知り得た情報（公開されているものを除く）の開示については、指導員の指示に従うこと。実習終了後においても、同様とすること。
5. 実習終了後2週間以内に、実習内容に関する報告書（1,000字程度）を作成し、指導員を経由して実習実施機関の長に提出すること。
6. 実習の成果を論文等により外部へ発表する場合には、事前に実習実施機関の長の承認を受けること。
7. 病気等のため予定されていた実習を受けられない場合は、あらかじめ、指導員にその旨を連絡すること。やむを得ない場合は、事後速やかに指導員にその旨を連絡すること。

令和 年 月 日

大学等名 _____

学生氏名(署名) _____

(別紙様式7)

令和 年度 実習計画書

実 習 生	受入課・出張所	事務所 課・出張所
	所属大学等名	
	氏 名	
指導員	職 名	
	氏 名	
実習計画	月 日	

(別紙様式 8)

令和 年度 就業体験実習受入結果報告

受入機関名			
指導員名			
実習生名			
大学学部名等	大学 (高校)	学部	年
期 間	月 日 ~	月 日	
出席状況	出席 日	・ 欠席 日	
	遅刻 日	・ 早退 日	
評 価 項 目		評価	特記事項
実習生の 実習態度	規律正しい態度であり、実習中支障がなかった	A・B C・D	
	業務内容の的確な理解ができていた	A・B C・D	
	業務内容に適応した行動であった	A・B C・D	
	目的意識をもって意欲的に取り組む姿勢が見られた	A・B C・D	
今後の改善点			
その他 (感想・良かった点等自由にご記入ください。)			

評価：A (優れている) B (やや優れている) C (普通) D (劣っている) の4段階

(別紙様式9)

令和 年度 就業体験実習受入結果一覧

〇〇事務所

受入課・出張所	受入期間	受入人数	実習内容	実習生の所属大学等